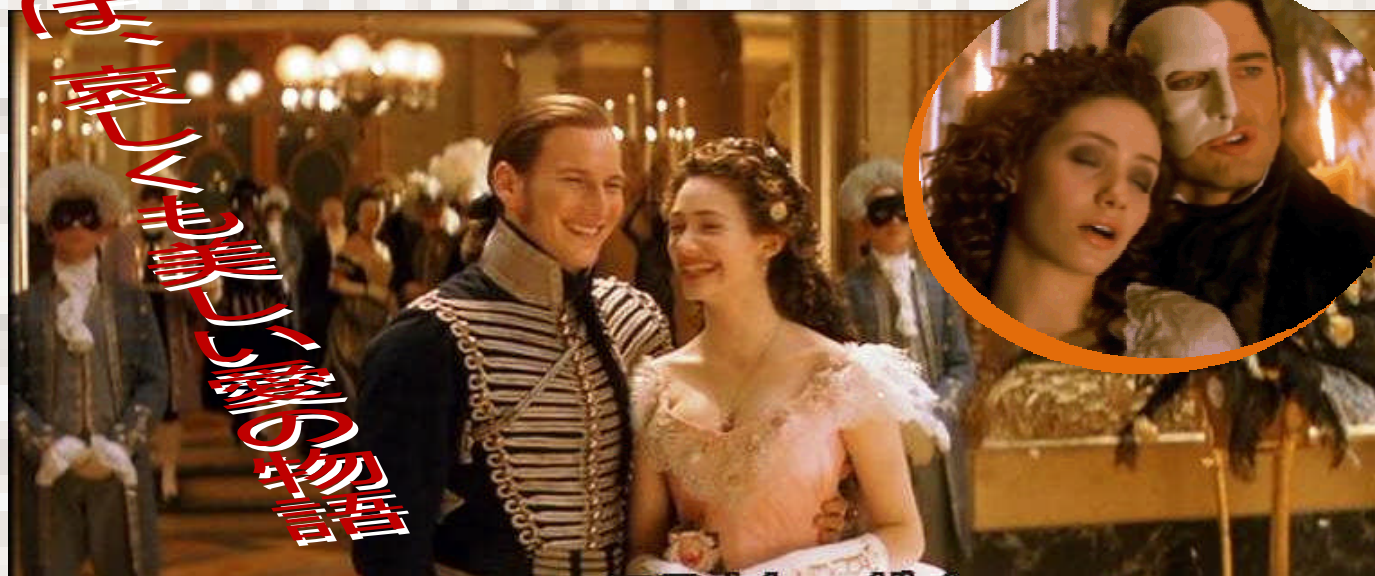


稗原団地の皆様へ

ミュージカル鑑賞会のお誘い

オペラ座の怪人

それは、
哀しくも美しく
愛の物語



豪華絢爛！ダイナミック！大迫力に息をのむ
一大スペクタクル巨編

- ・ 日時： 10月24日（土曜日）
- ・ 時間： 午後1時開演（約2時間20分）
- ・ 場所： 自治会館 2F
- ・ 上演品目：「オペラ座の怪人」
- ・ 製作・脚本・作曲：アンドリュー・ロイド・ウェバー
2004年 アメリカで製作



上映設備として、最新プロジェクターで、80インチのスクリーンを使用し、5.1chの立体音響によるものです。皆様のご期待に添えるものと思っております。
どうぞ、お誘い合わせの上、お出かけください。

※ 本資料をご希望の方は、[青木商店](#)、及び[川崎屋](#)にありますので、入手してご覧下さい。

※ 尚、当自治会のホームページにも記載してあります。

裏面の解説文を、ご参照下さい。

自治会文体部

*** 解説 ***

19世紀のパリ。オペラ座では、連日華やかなショーが繰り広げられる一方、“ファントム”（オペラ座の怪人）のしわざとされる謎の事件が連発していた。

プリマドンナの代役を務めることになった若く美しいクリスティーヌ・ダーエは、謎の師匠「音楽の天使」からレッスンを受け、やがてオペラ座のプリマへと成長する。

クリスティーヌの幼なじみ、ラウルは、彼女の輝きに惹かれ愛を告白するが、白い仮面をかぶった謎の「音楽の天使」ファントムはクリスティーヌを地下洞窟へ案内し、自分と共に生きるよう願い出た。

しかし、クリスティーヌがファントムの素顔を知ったことから、運命は悲劇へと向かい始める……………。

ロンドンのウェストエンド、またニューヨークのブロードウェイを始め、世界18カ国、100都市で多くの観客が魅了し、ミュージカル史上に燦然と輝く不朽の名作「オペラ座の怪人」が、その作り手であるアンドリュー・ロイド・ウェバー自身のプロデュースにより映画化された。

煌びやかに作りこまれたオペラ座と、対照的でありながら重厚で豪華なファントムの地下洞窟など、その映像美には目を見張るものがある。

さらに注目したいのは、この作品の中の3人の主要人物を演じた若手俳優たち。

ファントム役の**ジェラルド・バトラー**、クリスティーヌ役の**エミー・ロッサム**、ラウル役の**パトリック・ウィルソン**は、劇中のナンバーをすべて自分自身の声で歌い、鳥肌の立つような素晴らしい効果を挙げている。

ファントムがオペラ座に住むようになった経緯など、ミュージカルには存在しないエピソードを加え、映画ならではの展開も大いに楽しめる。



** 以上 **